

令和5(2023)年度

飯田市当初予算(案)の概要

長野県飯田市

目 次

1 令和5(2023)年度当初予算のポイント	… 1～3
1. 若年層が「住みたい」と思うまちづくり	… 4～5
2. 大学のあるまちづくりの推進	… 6
3. 持続可能で足腰の強い地域づくり	… 7
4. 子育て環境・教育環境の充実	… 8
5. 健康づくりの推進と地域福祉の充実	… 9
6. 賑わいのあるまちづくり	… 10
7. 安全・安心なまちづくりの推進	… 11
8. リニア・三遠南信時代を支える基盤整備	… 12
9. デジタル化による市民サービスの向上と地域DXの推進	… 13
2 「予算編成の基本方針」に基づく主な事業(戦略計画における基本目標ごとの主な事業)	
基本目標1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる	… 14～15
基本目標2 飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる	… 15～16
基本目標3 “結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む	… 16
基本目標4 豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む	… 17
基本目標5 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる	… 18
基本目標6 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	… 18～19
基本目標7 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	… 19～20
基本目標8 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる	… 20
基本目標9 20地区が輝く生き活きとした地域づくりを地域主体に進める	… 20～21
基本目標10 個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる	… 21
基本目標11 地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進	… 21～22
基本目標12 災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る	… 22～23
基本目標13 リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する	… 23～24
3 一般会計・各会計歳入歳出予算	
令和5(2023)年度一般会計 予算額	… 25
令和5(2023)年度飯田市各会計予算の総額	… 26～27
令和5(2023)年度一般会計 歳入(主な内容と増減内訳)	… 28～29
令和5(2023)年度一般会計 目的別歳出(主な内容と増減内訳)	… 30～31
令和5(2023)年度一般会計 性質別歳出(主な増減内訳)	… 32～33
4 地方債残高の推移	… 34
5 基金残高の推移	… 35

I 令和5(2023)年度当初予算のポイント

【 未来デザインに掲げる「目指すまちの姿」の実現に向けて 】 ～ 若年層が「住みたい」と思うまちづくりを推進 ～

令和5年度は、「いいだ未来デザイン 2028」中期計画の3年目にあたり、未来デザインの全計画期間12年間の折り返しの年でもあります。これまでの取組を振り返りつつ、未来デザインに掲げる「目指すまちの姿」とそれを支える人口ビジョンの達成に向けて、特に「若年層が『住みたい』と思うまちづくり」を推進するなど「令和5年度予算編成の基本方針」に基づき当初予算を編成しました。

基本方針の基本的な考え方

- ① 未来デザインに掲げる「目指すまちの姿」とそれを支える人口ビジョンの達成に向けて、戦略的に施策を組み立て、特に「若年層が『住みたい』と思うまちづくり」を推進します。
- ② リニア時代を見据え、大学生や研究者が「住んでみたい」、「研究したい」と思うような「大学のあるまちづくり」について検討を進めます。
- ③ 豊かな暮らしの実現、魅力的な就業の場の確保、安全で安心な住まいの実現、ジェンダー意識の向上など分野横断的な視点で、若年女性の社会増に向けた施策を推進します。
- ④ 市民サービスの向上と業務効率化のため、「行政DX」を推進するとともに、地域課題解決のため、デジタル技術の積極的な活用や将来を見据えた基盤整備について検討を進めます。
- ⑤ 足腰の強い地域社会構築のため、地域経済循環の視点から食料・資源・エネルギーの地元調達を進めるとともに、持続可能な地域の発展のため、あらゆる施策の実施にあたりゼロカーボンシティの実現を意識します。
- ⑥ コロナ禍において、社会経済活動の歩みを力強いものにしていくことが重要であり、各種事業を安易に中止や延期とすることないように、十分な感染対策のもとで実施することを基本とします。
- ⑦ 限られた財源の中で市民サービスの維持、向上を図りつつ、安定的で健全な行財政運営のための行財政改革を推進します。

飯田市の人口は、2020年国勢調査によると、人口ビジョンにおける展望人口を維持できていない状況であり、人口減少にいかんにかんがって歯止めをかけるかが大きな課題となっています。更に、県内でも人口の転出超過数が上位に位置しており、特に若年層の社会減を食い止めるため、若年層に響く情報や飯田の魅力発信を行い、飯田とつながる人を増やし、飯田への人の流れをつくる取組を強化する必要があります。

飯田市は、「田舎暮らしの本」(宝島社)2023年2月号で「2023年版 第11回住みたい田舎ベストランキング」において、総合部門(人口5万人以上10万人未満のまち)で「全国1位」に選ばれました。「豊かな自然を背景として、山・里・まちの暮らしが可能であり、移住希望者の多様な志向に応えられる地域であること」に加え、「移住希望者向けに有用な情報を発信し、関係人口の増加に積極的に取り組んでいること」などが評価されたことによります。

令和5年度は、こうした評価を更に高めるべく、飯田の地域資源を活用し、強い愛着を持った飯田ファンを育みながら、これまでの官民連携の取組に加え民間連携による関係人口の創出・拡大や効果的な情報発信と相談体制の充実により、移住定住希望者の更なる増加を図っていきます。

また、特に若年女性の社会減が当市の人口減少に大きく影響していることから、男女共同参画推進コーディネーターの配置による女性のネットワークづくりの推進や、国の「えるぼし」「くるみん」など女性の活躍推進等に関する優良企業認証取得事業を支援し、女性が活躍できる環境の充実を図っていきます。

併せて、リニア時代を見据え、大学生や研究者が「住んでみたい」「研究したい」と思うようなまちづくりを進めることも重要であり、当地域の長年の悲願である4年制大学の誘致活動を推進しつつ、信州大学との連携により進めている「航空機システム共同研究講座」や令和5年度から開講する「ランドスケープ・プランニング共同研究講座」への支援、高校教育や社会教育との連携により学輪IIDAの知をつなげる高大連携や域学連携の取組など様々な視点から「大学のあるまち」に向けた取組を展開していきます。

環境文化都市づくりに向けては、昨年11月に、2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けた飯田市と中部電力株式会社による共同提案が、環境省の「脱炭素先行地域」に選定されました。これまでの取組に加え、川路地区全域における「地域マイクログリッド」構築によるレジリエンス(※)の向上のための取組や、市内全小中学校への太陽光発電設備及び蓄電設備の導入による環境教育の強化など、脱炭素社会の実現に向けて多角的な取組を推進します。

(※)レジリエンス：「気候変動等による外的条件の変化への対応力」

また、国際情勢の影響を受けにくく持続可能で足腰の強い地域社会の構築に向けては、食料・資源・エネルギーの地元調達を進めることが重要であり、域産域消を基本とした環境に配慮した農業の推進や、飯田市産材を活用した建築物の建設促進に向けた支援など、地域経済循環の基盤となる一次産業の振興に取り組めます。

予算規模

～ 一般会計の予算規模は過去最大 ～

- 一般会計 490億6,000万円（前年度比+2.7% …令和4年度 477億5,000万円）
- 特別会計 508億4,360万円（前年度比+0.9% …令和4年度 503億7,510万円）
- 全会計 999億360万円（前年度比+1.8% …令和4年度 981億2,510万円）

令和5年度の一般会計の当初予算は、過去最大規模となりました。これは、本格的な工事に着手するリニア駅周辺関連道路事業に係る用地買収や物件補償のほか、川路地区を中心に展開していく脱炭素先行地域づくり事業、妊娠時と出産時にそれぞれ応援給付金を給付する国の出産子育て応援給付金などの新たな事業に係る予算を計上したことによります。また、世界情勢の影響による原油価格や物価の高騰に伴い、公共施設の燃料費や光熱水費など固定経費が軒並み増加となることも予算規模増大の要因です。

飯田市の今後10年間には、リニア関連事業、(仮称)南信運輸免許センター関連事業、新文化会館建設など多くの大規模事業が控えています。「今後10年間の財政見通し」を踏まえ、リニア時代を見据えたまちづくりに向けての必要な投資を行いつつ、既存施設やインフラなどを安全・安心・快適に活用していく長寿命化の取組の両側面から安定的で健全な行財政運営に努めていきます。



【 未来デザインに掲げる「目指すまちの姿」の実現に向けて 】

1. 若年層が「住みたい」と思うまちづくり

予算額
2,553万円

- ・ 移住に向けた効果的な情報発信と相談体制の充実
- ・ 女性が活躍する「場の創出」
- ・ 女性が働きやすい環境づくりに関する企業認証取得に向けたセミナーの開催
- ・ “仕事”と“暮らし”のお試し体験事業『結いターンシップ事業』の実施
- ・ 地元企業への就職支援と就活生への情報発信の強化

2. 大学のあるまちづくりの推進

予算額
2,902万円

- ・ 大学の機能を活かした学びの推進と「大学のあるまちづくり」に向けた取組
- ・ 大学連携コーディネーターの配置による大学生と地域のつながりの強化
- ・ 「信州大学ランドスケープ・プランニング共同研究講座」の運営支援

3. 持続可能で足腰の強い地域づくり

予算額
3億6,711万円

- ・ 脱炭素先行地域づくり事業によるゼロカーボンシティ実現に向けた展開
- ・ 地域循環型農業の推進に向けた取組 ・ 住宅・事業所等への市産材の活用支援

4. 子育て環境・教育環境の充実

予算額
3億4,375万円

- ・ 「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組強化
- ・ 子どもたちの読書活動の推進と読解力の向上に向けた取組
- ・ 学校に通えない子どもたちの居場所づくりや自立支援に向けた民間施設との連携強化

5. 健康づくりの推進と地域福祉の充実

予算額
2億5,106万円

- ・ 健康ポイントによるフレイル予防の推進
- ・ 社会福祉施設の感染症対策支援
- ・ 地域包括支援センターによる相談体制の強化
- ・ 生活支援サービス提供団体等への支援

6. 賑わいのあるまちづくり

予算額
5,041万円

- ・ 節目を迎えるりんご並木70周年・動物園70周年など記念事業の開催
- ・ りんご並木への車両進入を制限する社会実験の実施

7. 安全・安心なまちづくりの推進

予算額
5億6,783万円

- ・ 災害リスクを正しく認識するための研修会の実施や、避難の実効性を高めるための個別避難計画の策定支援
- ・ 通学路の安全確保 ・ 避難施設における快適な生活環境の確保に向けた取組の強化

8. リニア・三遠南信時代を支える基盤整備

予算額
15億702万円

- ・ 駅前広場整備に向けた取組、運営主体の形成に向けた検討
- ・ 二次交通を踏まえた新たなモビリティの実証実験 ・ 「道の駅遠山郷」の再整備
- ・ 企業誘致の推進

9. デジタル化による市民サービスの向上と地域DXの推進

予算額
2,302万円

- ・ デジタル化による市民サービスの向上
- ・ 地域DXを進めるための人材育成とオープンデータの整備
- ・ 製造現場における課題解決と改善のためのDX・IT化支援

1. 若年層が「住みたい」と思うまちづくり

Point.1 移住に向けた支援の強化

拡充 移住に向けた効果的な情報発信と相談体制の充実

1,965万円

口コミやSNS、マッチングシステムの活用による情報発信力の強化

- オンラインセミナーにおける「人」の魅力紹介
- 移住者紹介リーフレットによるリアルな情報発信
- 移住コンサルジュによる地域紹介、つながり支援
- マッチングシステムによる戦略的なターゲティング
- メディア、SNSへの情報掲載
- 動画を活用した情報発信



移住者紹介『私の移住物語』



移住コンサルジュによる地域紹介



民間連携による若者の関係人口の創出・拡大、結いターンアンバサダーの育成

- 関係人口創出イベント（空き家DIYイベント、放置竹林の整備等）
- 結いターンアンバサダー育成講座
- 民間連携（Airbnb、南信州観光公社等）による地域資源活用事業
- やまざと親子留学
- 仕事と暮らしのお試し体験事業



空き家DIYイベント



放置竹林整備イベント



ワンストップ窓口体制によるUIターン希望者の総合的な相談支援

- 【仕事】市内事業所の求人開拓と移住希望者への職業紹介による雇用促進
- 【住まい】空き家バンク制度の運用と地域内不動産情報の提供
- 【暮らし】地域とのつながりづくり支援「移住者交流会」
- 移住コンサルジュ、地域住民との連携による包括的なサポート
- 就業移住支援金を活用した子育て世代の移住推進



移住者交流会



移住の入り口で結び目となる「移住コンサルジュ」



「ゆいだより（月1回発行）」を通じた相談者との関係構築

「田舎暮らしの本」
2023年版住みたい田舎ベストランキング2023
総合部門 ★第1位★
※人口5万人以上10万人未満のまち
宝島社「田舎暮らしの本」2023年2月号

【結いターン移住定住推進課（内5440）】

Point.2 若年女性の社会増へのチャレンジ

新規 女性が活躍する「場の創出」

322万円

☞男女共同参画推進コーディネーターを配置し、第7次飯田市男女共同参画計画（施策の柱1～5）に掲げる取組を着実に推進します。

☞自分らしい働き方を目指す女性の就業や起業に向けた研修会を実施します。
女性のための就業や起業の相談対応、仕事と自分らしい働き方のマッチング、セミナーや交流会等を通じたネットワークづくりを行います。



【共生・協働推進課（内4910）】

新規

女性が働きやすい環境づくりに関する企業認証取得に向けたセミナーの開催

17万円

☞国や県の企業認証取得を支援する勉強会を開催し、女性が働きやすい魅力ある地域の企業をPRします。

えるぼし

女性活躍推進に関する優良企業を認定する国の制度



くるみん

子育てサポートに関する優良企業を認定する国の制度



職場いきいきアドバンスカンパニー

働きやすい職場づくりに取り組む企業を認定する県の制度



【産業振興課（内3510）】

Point.3 若者回帰定着の促進

新規

“仕事”と“暮らし”のお試し体験事業『結いターンシップ事業』の実施

129万円

目的

◎飯田への
若年層のUIターンを増やす

- ・UIターン希望者に…仕事を体験してもらう。
飯田の暮らしを体験してもらう。
地域住民とつながる機会を提供する。
- ・事業所に…職場の魅力や個性をPR。採用につなげてもらう。

お試し「仕事」体験（インターンシップ）

【UIターン希望者】

- ・実際の仕事を体験できる
- ・職場の雰囲気に触れることができる
- ・経営者と直接話ができる

【事業所】

- ・自社の個性や魅力を知ってもらう
- ・転職のミスマッチを回避できる



職場でのお仕事体験

お試し「暮らし」体験

- ・飯田の暮らしやまちの雰囲気を知ることができる
- ・気候や距離感等を感じることができる
- ・地域の方と知り合いになれる、相談相手ができる
- ・先輩移住者から直接話を聞くことができる
- ・地域の実情を知った上で移住を検討することができる



ゲストハウスでの
暮らしの情報交換会

事業の概要

仕事と暮らしをセットで体験してもらい、体験に伴う宿泊費と交通費の一部を補助する。

★対象者

飯田下伊那圏域外に居住する18歳以上の者のうち、飯田市へのUIターンを希望・検討する者

★補助対象費用及び補助金の額

交通費（往復） … 上限5,000円 / 宿泊費（上限5日） … 一泊につき上限5,000円

【結いターン移住定住推進課（内5440）】

新規

地元企業への就職支援と就活生への情報発信の強化

120万円

☞ 地域の就職関連情報を効果的に発信するため、南信州の就活ポータルサイト「イダカイシャナビ」に情報を集約し、利用者の利便性を高めます。

☞ 飯田下伊那の企業情報「就活ナビ」、YouTube動画、インターンシップ情報、飯田の暮らしの情報などコンテンツの充実を図ります。

☞ 学生や就活者向けに工夫を凝らした企業紹介動画の制作に対して補助金を交付し支援します。

南信州の就活ポータルサイト



学生に伝わる動画で
企業をPR



2. 大学のあるまちづくりの推進



★ 拡充 大学の機能を活かした学びの推進と「大学のあるまちづくり」に向けた取組 1,375万円

☞ 全国から飯田に関心を持ち訪れる、学輪IIDA等の大学研究者や大学生が市民にとってより身近な存在となり、大学・大学生とのふれあいが日常となるような機会・環境・関係づくりに取り組みます。

■ 大学のあるまちの実現に向けた取組

- 4年制大学の誘致に向けた取組
- ・ 信州大学新学部誘致推進協議会と連携した取組
- ・ 情報発信の強化、誘致実現に向けた地域の気運醸成



- 地域の高等教育機関に通う学生の声を活かした取組
- ・ 学生のための「学びの支援補助金」の創設
- ・ 学校周辺への照明の設置、授業時間外の活動場所の充実等、学びや暮らしの環境整備

■ 高校生の学びに大学の知見を活かす 高大連携

- ・ 高校での模擬授業や課題研究のサポート
- ・ 大学生と共に学ぶ機会、活動する機会の創出
- ・ 市内高校と連携した学びの研究会実施



■ 市民、地域と大学をつなげる 域学連携

- ・ 市民が専門的知見に触れる機会の創出
- ・ 調査研究成果を、オープン参加型の報告会等を開催して市民へ還元
- ・ 飯田学(輪)大学の開催

【大学誘致連携推進室（内2250）】

★ 新規 大学連携コーディネーターの配置による大学生と地域のつながりの強化 527万円

☞ 飯田と関係性を持った大学生の学びや活動をサポートする人材を、地域おこし協力隊の制度を活用して配置し、大学や大学生と地域の橋渡しを行うとともに、大学生の関係人口づくりに取り組みます。



飯田は年間 約700人の大学生が
学びに訪れる 学びの宝庫



大学連携コーディネーター（仮称）の役割

- ・ 大学生との関係性の構築
- ・ 大学生の受け入れ、調整や支援の実施
- ・ ムトスぷらざの活用、学びの活動拠点化の促進

目指す姿（到達目標）

- 大学生の関係人口づくり
- 飯田に関わる大学生の組織化

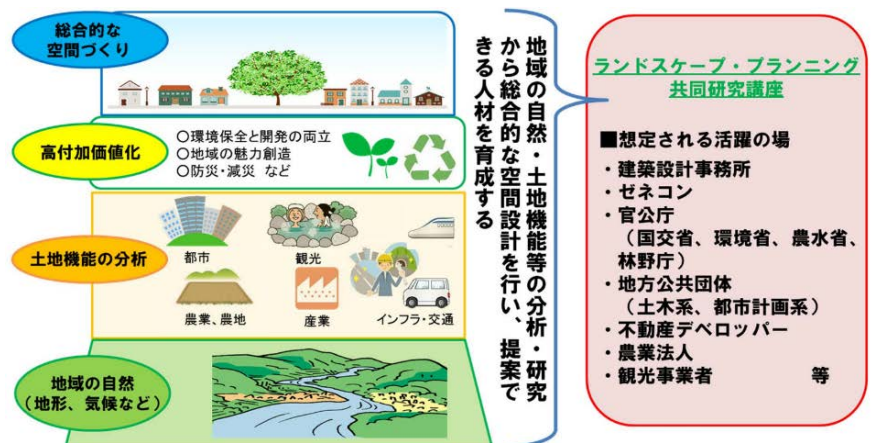
【大学誘致連携推進室（内2250）】

★ 拡充 「信州大学ランドスケープ・プランニング共同研究講座」の運営支援 1,000万円

令和5年4月にエス・バードで開講する「信州大学ランドスケープ・プランニング共同研究講座」の運営を支援します。

- 開設時期：令和5年4月
- 専攻・課程：総合理工学研究科 農学専攻・修士課程
- 定員：3名
- 教員体制：専任教員2名

共同研究講座では、ランドスケープの視点から、土地や空間の設計・計画のできる人材を育成します。(イメージ:右図)



3. 持続可能で足腰の強い地域づくり

新規

脱炭素先行地域づくり事業によるゼロカーボンシティ実現に向けた展開

3億5,580万円

令和4年11月に環境省から「脱炭素先行地域」に選定されたことを受け、既存の配電線を用いた地域マイクログリッドの構築や再生可能エネルギーの活用の加速化など、対象エリアである川路地区や市内小中学校で先進的な取組を推進し、それら取組をモデルとして2030年ゼロカーボン実現に向けた広域的な展開を目指します。

2022年11月
選定!!



脱炭素先行地域

「地域マイクログリッド」とは？

「マイクログリッド」とは「小さな電力網」のこと。災害等により長時間の停電が発生したときには、地域内の太陽光発電所（メガソーラーいいだ）を主な電源として、地域の配電線を使って小さな電力網を構成し、電気を送り届ける仕組みです。

このほかにも...



小中学校施設への太陽光発電設備や蓄電池の導入に向けた検討やLED化を進めます。

脱炭素先行地域エリア(川路地区)内で、再生エネを最大限導入・活用するための補助制度を創設します。



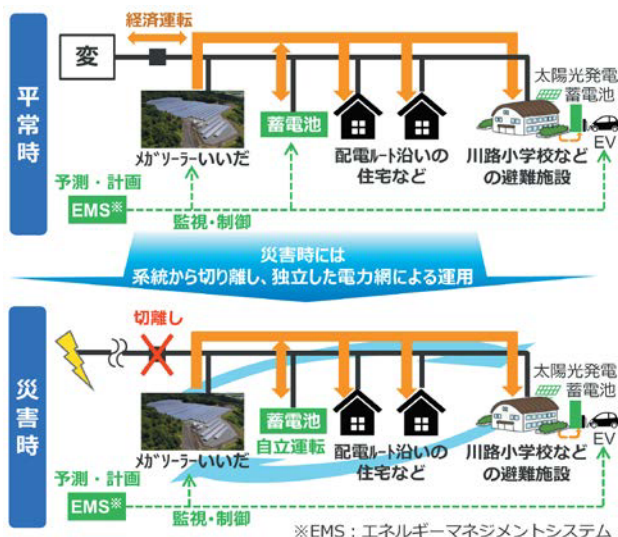
<太陽光発電>



<蓄電システム>

<電気自動車・V2H>

<地域マイクログリッド イメージ>



【ゼロカーボンシティ推進課（内5470）生涯学習・スポーツ課（内3730）】

新規

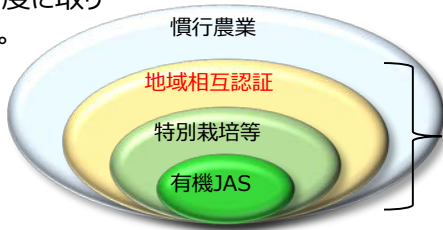
地域循環型農業の推進に向けた取組

259万円

地域内の未利用資源を活用し、域産域消を基本とした環境に配慮した農業を推進します。

環境に配慮した農業へ転換しその農産物を積極的に選んでもらうために、既存の認証制度を補完する形で地域相互認証制度を創設します。

まずは、需要が安定している学校等の給食から認証制度に取り組みます。



環境に配慮した農業

【農業課（内4811）】

拡充

住宅・事業所等への市産材の活用支援

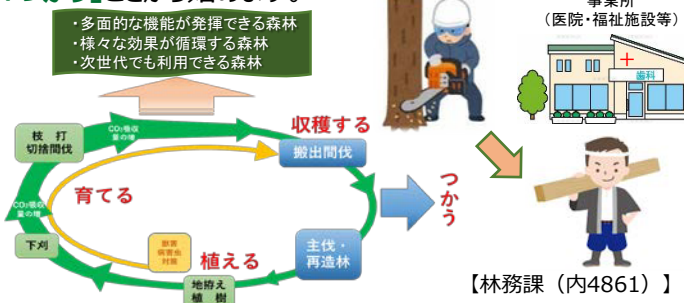
872万円

市産材を活用した住宅建築を促進し、地域の森林資源の循環を図ります。

新設

多数の方が利用する民間建築物（事業所等）の市産材を活用した整備を支援し、市産材利用の拡大を図ります。

森林の循環サイクル構築のため、まずは木を「収穫」、 「つかう」ことから始めます。



【林務課（内4861）】

4. 子育て環境・教育環境の充実

子育て 「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組強化 2億2,701万円

☑こどもの健やかな成長の視点を地域社会の真ん中に据え、妊娠期からの途切れない相談支援体制を充実し、こども・子育てを取り巻く課題の把握と改善に取り組みます。

出産の希望をかなえる

新 出産・子育て応援交付金事業
妊娠期から出産・子育て期までの相談、支援を行います。

拡 不妊・不育治療支援
不妊・不育治療の負担軽減を図るため、年齢制限を設けず、支援を行います。

新たな相談窓口設置

新 ヤングケアラー支援コーディネーター
ヤングケアラーの実態を把握し、支援へつなげます。

新 こどもの未来応援コーディネーター
子どもの貧困対策として、課題に応じて専門機関等の支援につなげます。



子育ての希望をかなえる

拡 一時預かり事業の拡充
保育園、認定子ども園等で行っている一時預かりを、つどいの広場でも利用できるようにします。

孤立を防ぐ

新 子育て世帯訪問支援の実施
ヤングケアラー等の家庭に対し、家事支援を行うヘルパーの派遣を行います。

【子育て支援課（内5730）保健課（5510）】

教育 子どもたちの読書活動の推進と読解力の向上に向けた取組 6,813万円

☑子どもたちが本に関心を持ち、自発的な読書が行えるよう、読書環境の充実を図るとともに、全ての教育活動を通じて、文章の意味を正確に理解する力である読解力を高めることを意識した授業づくりに取り組みます。

学校に通えない子どもたちの居場所づくりや自立支援に向けた民間施設との連携強化 4,861万円

拡 ☑令和4年5月に開設した教育支援センター「びーいんぐ」の教育相談コーディネーターを増員し、学びの場、相談の窓口、民間施設との連携拠点の場として支援体制の更なる充実・強化を図ります。

読解力の向上に向けた授業の実践

研究・実践

リーディングスキル
テストによる検証

・読む力や書く力の育成
・教科書の内容を正しく理解

・読解力の状況把握
・取組の効果検証

子どもたちの自発的な読書活動、読解力の向上

・学習用端末で書籍を検索
・データ管理で効率化

・子どもたちの読書活動の支援

新 学校図書館システム

本の検索機能強化

本のデータ化

拡 学校司書の全校配置

読書活動の支援

読書環境の充実



☑登校や居場所づくりに向けた相談や支援を行う教育支援指導主事を中学校区単位に配置します。

新 ☑学校へ通えない子どもたちに、居場所を提供しているフリースクール等の民間施設に対して、活動の内容に応じた支援制度を創設します。



5. 健康づくりの推進と地域福祉の充実

新規 健康ポイントによるフレイル予防の推進
 341万円

③フレイル（健康と要介護状態のちょうど中間の状態）は、社会とのつながりを失うことが最初の入り口とも言われています。通いの場への参加者に健康ポイントを付与し、社会参加を楽しみながらフレイル予防を進めます。

【フレイルドミノ】



【長寿支援課（内5750）】

社会福祉施設の感染症対策支援
 7,210万円

③新型コロナウイルス感染症の予防対策が求められる社会福祉事業者に対し、感染対策に要する費用を対象とする支援交付金を交付します。

交付金の活用により、社会福祉事業者の財政負担を軽減し、サービス提供体制の維持に努めます。



【長寿支援課（内5750）】

拡充 地域包括支援センターによる相談体制の強化
 1億7,255万円

③高齢者の皆さんに、より身近な相談体制を確保するために、日常生活圏域ごとにセンターの設置を目指しています。令和5年度はセンターを1か所増設し、市内6か所でいろいろな相談やお悩みに対応し、支援します。



【長寿支援課（内5750）】

新規 生活支援サービス提供団体等への支援
 300万円

③既存の介護サービスや障害福祉サービスの対象となっていない福祉サービス等を実施する非営利団体等に対して、その経費の一部を補助することで、福祉サービス等を実施する団体等の活動を促進し、共生社会の担い手を育成します。これにより、誰もが安心して住み慣れた地域で生活することを支援します。



【福祉課（内5710）】

6. 賑わいのあるまちづくり

新規

節目を迎えるりんご並木70周年・動物園70周年など記念事業の開催

4,110万円

りんご並木70周年

飯田市立動物園開園70周年

☞「りんご並木」と「飯田市立動物園」が今年70周年を迎えるにあたり、記念事業を開催します。



【学校教育課（内3710）】

○りんご並木70周年

9月29・30日開催（予定）主催：飯田東中学校
これに合わせ、りんご一本一本に添えられたプレートを改修し、いいたのシンボルであるりんご並木を演出します。

○飯田市立動物園開園70周年

5月5日開催（予定）
式典やアトラクションなどの記念事業を実施します。



【維持管理課（内2730）】

デジタルツールを活用した賑わいづくり



市外の方へ「飯田市へ行きたい」を創る

現地で「より楽しめる体験」

☞りんご並木・動物園の各70周年記念事業を盛り上げる企画としてデジタルコンテンツを作成し、中心市街地の賑わいづくりにつなげていきます。

また、中心市街地のほかに観光誘客事業として天龍峡や遠山郷等の飯田市の魅力発信に活用していきます。

【商業観光課（内4650）】

JR飯田駅開業100周年

☞まちの発展に寄与したJR飯田駅に感謝し、様々な周年事業を行い、リニア時代に向けた観光誘客につなげます。

【商業観光課（内4650）】



◀JR飯田駅

1943年（昭和18年）

出典：飯田市歴史研究所所蔵

いいた人形劇フェスタ25周年

☞全国からの劇団のほか、友好提携を結んでいる春川人形劇フェスティバル（韓国）と雲林国際人形劇フェスティバル（台湾）から推薦された劇団もやってきます。



8月3日～6日開催

【文化会館（内4220）】

オーケストラと友に音楽祭15周年

☞コロナ禍で2回の中止がありましたが、15回目となる今年のオーケストラと友に音楽祭は通常開催を計画しています。

5月3日～6日開催

【文化会館（内4220）】



新規

りんご並木への車両進入を制限する社会実験の実施

931万円



☞歩行者中心の賑わいのあるまちづくりに向けて、中心市街地のシンボル「りんご並木」を活用し、車両規制等による歩行者空間を創出する社会実験を実施します。

社会実験の方法は、りんご並木の将来像や活用方法、周辺への影響等を踏まえて地域住民や関係者の皆さんと検討していきます。

【商業観光課（内4650）】

7. 安全・安心なまちづくりの推進



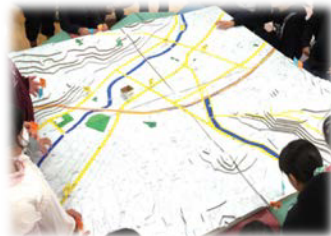
新規 災害リスクを正しく認識するための研修会の実施や、避難の実効性を高めるための個別避難計画の策定支援 1,825万円

☞「風水害から市民の生命と財産を守る」ことを目的に、市民の皆さんが安全・安心に暮らせるまちを目指し、地域防災力の向上、地域で取り組む防災・減災のまちづくりなど、自助・共助を支援する環境整備に取り組みます。

取組方法	地域・個人の防災意識の高揚を図り、避難行動を促すことに繋がる取組を実施
取組内容	✓ハザードマップの更新と市民への配布・説明
	✓土砂災害から命を守る検討会の実施
	✓防災学習の推進・・・座学とダンボールジオラマを活用した体験型学習
	✓「防災コンシェルジュ」アプリの構築 (避難行動要支援者の個別避難計画策定ツール、一般向けマイタイムライン作成ツールなど)



土砂災害から命を守る検討会



ダンボールジオラマを活用した体験型学習



アプリ (イメージ)

【危機管理課 (内2440)】

拡充 通学路の安全確保 3億985万円

☞ 飯田市通学路安全対策アクションプログラムに基づき、危険な箇所の整備を進め、児童生徒が安全に通学できる通学路を確保します。

飯田市通学路安全対策アクションプログラム 4つの取組の柱

- ①安全・安心な通学路の指定
- ②安全教育・指導の徹底
- ③地域との協働による安全確保
- ④通学路の環境整備



危険箇所の把握・確認



安全教育・指導

通学路整備



通学路の側溝に蓋をし、歩行空間を確保

路面標示やグリーンベルトの施工

避難施設における快適な生活環境の確保に向けた取組の強化 2億3,973万円

☞ 指定避難施設等に指定している公園や学校の屋外トイレを、和式から洋式へ改修します。
☞ 建て替えが必要なトイレは、障がいのある方や高齢の方でも使いやすいユニバーサルデザインを考慮した構造とします。



改修前



改修後



市有施設屋外トイレ改修計画

年度	R4	R5	R6	R7	合計
全体数	25	25	23	9	82
応急避難施設	4	0	4	1	9
広域避難地	6	5	3	1	15
避難地	13	20	16	6	55
その他	2	0	0	1	3

8. リニア・三遠南信時代を支える基盤整備



駅前広場整備に向けた取組、運営主体の形成に向けた検討 13億7,297万円

☞リニア駅前広場の整備に向け、ハード及びソフトの両事業を推進していきます。

土木造成工事

建築物設計

- 交通体系
- 新交通システム
- 再エネ 省エネ

- グリーンインフラ
- 木材活用
- 景観形成

- ブランド構築
- 事業組成
- 駅広活用
- 情報発信

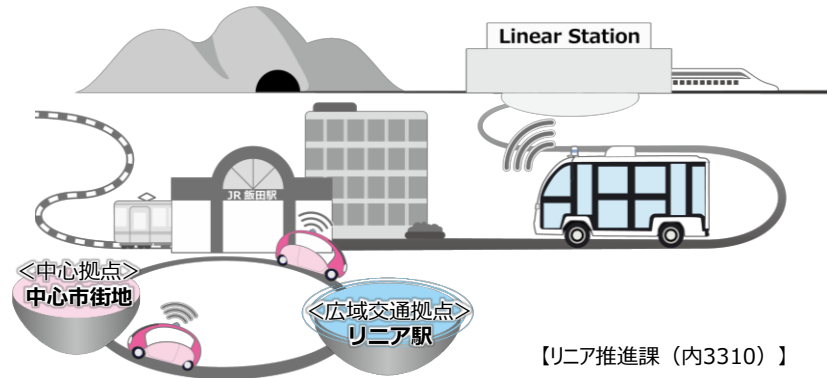
事業箇所

【リニア整備課 (内3340)】

二次交通を踏まえた新たなモビリティの実証実験 2,263万円

☞新たなモビリティ導入によるリニア二次交通の利便性向上を目指すため、自動運転の実証実験を行います。

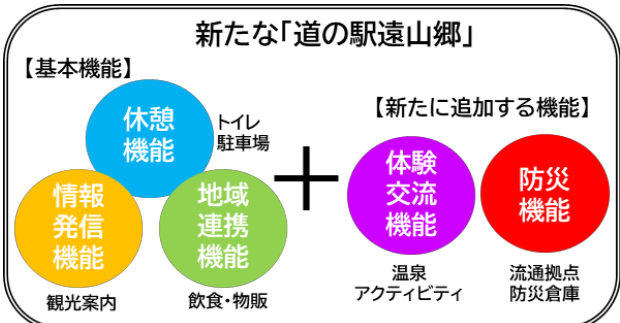
自動運転小型バス(塩尻市の例)



新規 「道の駅遠山郷」の再整備 8,577万円 拡充 企業誘致の推進 2,565万円

☞信州の南の玄関口として重要な役割を持つ道の駅遠山郷の再整備に向けて、旅の目的地となるための魅力づくりや施設整備、さらには誘客効果が期待できる温泉の復旧を進めます。また、新たな経営体と開業に向けた取り組みに協力します。

☞龍江インター産業団地の企業誘致に向けて、新聞広告等、積極的な誘致活動に取組みます。また、リニア時代を見据え、地方への拠点開設に関心のある企業進出を促進するため、市内にオフィスを開設する事業者や、お試しサテライトオフィスを利用する事業者を支援します。さらにICT関連産業の立地促進への取組みを強化します。



9. デジタル化による市民サービスの向上と地域DXの推進

★ 拡充 デジタル化による市民サービスの向上

1,468万円

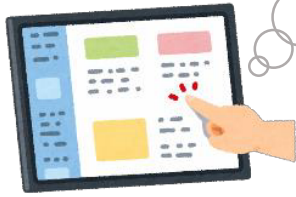
☞市役所に出向かなくても手続きや相談ができる環境づくりを進め、市民サービスの向上を図ります。

☞市政情報が入手しやすくなり、いつでも応答できるAIチャットボットと、プッシュ型の情報発信と通報機能を備えた公式LINEを運営します。



たとえば..

- ・電子契約システムの導入
- ・口座振替WEB申込サービスの導入
- ・オンライン相談システムの導入
- ・キャッシュレス決済の拡充
- ・母子手帳交付のオンライン予約の開始



DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、.. Digital Transformation の略。ICT の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。



【デジタル推進課（内2240） 広報ブランド推進課（内2320） 納税課（内5150） 美術博物館（0265-22-8118） 保健課（内5510）】

★ 新規 地域DXを進めるための人材育成とオープンデータの整備

704万円

体験型のデジタル技術習得機会を創出

☞スマートフォン講座やプログラミング教室などのデジタル体験の機会を創出し、デジタルを活用できる人材の育成に取り組みます。



オープンデータの整備と利活用講演会の開催

☞飯田市が所有する公共施設や指定避難所などの一覧データを市民の皆さんや教育機関等が自由に活用できる形に整備し、オープンデータとして提供します。また、オープンデータの必要性やオープンデータを活用した課題の発見、解決方法を学ぶ講演会を開催します。



地域DX情報交流会・DX人材育成講演会の開催

☞地域内外のDXに関連する様々な分野の事業者や団体等による情報交流の機会を創出し、地域のDX推進の機運醸成や、DX推進連携体制の構築に向けて取り組みます。

【デジタル推進課（内2240）】

製造現場における課題解決と改善のためのDX・IT化支援

130万円

☞DX・IT化を進める企業の取組みを支援します。

- ・DX導入に取り組む製造業事業者のDX推進ワーキンググループ活動を継続支援。
- ・DX・IT化推進に取り組む企業の課題解決を支援するDXコーディネーターにより、導入に向けた現場の課題抽出、課題解決の支援や、IT人材育成のサポートなど、具体的なDX・IT化導入に向けた取り組みを支援。



【工業課（内4433）】

2 「予算編成の基本方針」に基づく主な事業（戦略計画における基本目標ごとの主な事業）

基本目標 1

稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる

※基本目標1の主な事業の予算額合計（再掲含む）2億6,903万円

地域経済循環による足腰の強い地域づくり

・大学等高等教育機関との連携による消費動向調査の実施	173万円
・地域内の異業種間連携による共同商品開発等の支援	50万円
・飯田版地域通貨導入に向けた研究	34万円
・農業における地域内未利用資源の発掘	63万円
・飯田市産材を活用した民間建築物（事業所建物・個人住宅）の建設促進	872万円

環境に配慮した農業の推進と担い手の確保

・移住就農研修制度など新規就農への継続的支援	6,171万円
・農地の集積、集約支援、耕作支援等による遊休農地の活用	762万円
・有機農業等の推進のための土壌診断を活用した土づくりと栽培技術研修の実施	85万円
・地域相互認証制度導入に向けた学校給食の地元産率及び環境に配慮した食材率の向上	141万円

搬出間伐や主伐・再造林の促進による森林整備の推進

・森林資源の活用に向けた架線集材による搬出間伐の可能性調査と高性能林業機械の導入支援 ※架線集材とは…空中にワイヤーロープを張り、伐採した木を吊るして木材を搬出する技術	750万円
・森林経営管理意向調査の実施と地域林政アドバイザーによる森林経営管理集積計画の策定	1,958万円
・森林による温室効果ガスの吸収量をクレジットとして認証する「J-クレジット」活用の検討	80万円

信州大学との連携強化

・「航空機システム共同研究講座」とともに令和5年度に開講する「ランドスケープ・プランニング共同研究講座」へ産・学・金・官連携による支援	1,370万円
---	---------

エス・バードの機能強化と地域産業の高付加価値化

・認定試験所としての継続的な体制強化と環境試験設備を活用した航空機電動化・次世代エアモビリティの研究	942万円
--	-------

・地域資源オープンイノベーションの機能充実や地域活性化起業人を活用した共同開発・ブランディング化支援	980万円
・小水力・水素エネルギー等の新産業分野への参入に向けた取組の支援	200万円

広域交通網を見据えた観光振興

・信州の南の玄関口となる遠山郷の観光振興と「道の駅遠山郷」の再生	8,577万円
・天龍峡マルシェやナイトミュージアム等「天龍峡おもてなし戦略」の支援	300万円
・デジタル技術を活用した観光誘客など飯田の魅力発信の充実	830万円

龍江インター産業団地及びサテライトオフィス等への企業誘致

・龍江インター産業団地への企業誘致に向けた取組	1,715万円
・市外企業のお試し利用支援などサテライトオフィス開設に向けた支援	300万円
・情報サービス業、インターネット付随サービス業等を対象とした ICT 関連産業等立地事業補助金の創設	550万円

基本目標 2

飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる

※基本目標 2 の主な事業の予算額合計（再掲含む）4,392 万円

若年層に響く情報発信の充実と若年層のニーズに応える移住に向けた取組

・飯田市 P R 動画コンテストの開催や市民参加型による飯田の魅力の発信	64万円
・民間連携による関係人口の創出・拡大や効果的な情報発信と相談体制の充実による移住定住希望者の増加に向けた取組	1,901万円
・仕事と暮らしのお試し体験事業「結いターンシップ事業」の実施	129万円

若年層の地元就職支援と若者回帰定着の促進

・若年層の地元への回帰・就職拡大に向けた新卒者への就業促進・定着支援	188万円
・女性が働きやすい環境づくりに関する企業認証取得に向けたセミナーの開催	17万円
・企業説明会や企業の採用動画制作支援など地元企業を知る機会の提供	120万円
・商店街の空き店舗を活用した起業家等への創業支援	120万円

中心市街地における「歩く人が中心の賑わいのあるまち」づくり

・節目を迎えるりんご並木 70 周年・動物園 70 周年・飯田駅 100 周年など記念事業の開催	262万円
・中心市街地の現状や実態の把握と課題整理のための基礎調査の実施	500万円

・りんご並木の新たな活用に向けた車両規制等による歩行者空間づくりのための社会実験の実施	931万円
・スマートフォンやスマートグラス等のデジタル技術を活用した中心市街地回遊の推進	160万円

基本目標 3

“結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む

※基本目標3の主な事業の予算額合計（再掲含む）7億6,307万円

子どもの生きる力につながる「読解力」の向上と確かな学力を培うための授業改善

・学校司書体制の強化や学校図書館システムの導入による子どもたちの読書環境の整備	6,792万円
・発達段階に応じた読書活動の推進	890万円
・ICT教材を効果的に活用した協働学習による授業改善の推進	2億599万円

誰ひとり取り残さない教育や支援

・ムトスぷらざに設置した「びーいんぐ」を拠点とした学校に通えない子どもたちの居場所づくりと自立支援に向けた各関係機関・民間フリースクール等との連携による支援	4,861万円
・特別な支援を必要とする子どもも包み込むインクルーシブ教育の理解を深める研修会やスクリーニング会議実施校の拡大	7万円

地元食材を取り入れた食育の推進

・生産者や流通販売事業者等と連携した保育園・学校給食における地元食材利用や有機栽培野菜の利用推進（事業費再掲）	141万円
---	-------

これからの小中学校のあり方検討

・「飯田市のこれからの学校のあり方審議会」による基本方針（案）の策定に向けた調査審議	72万円
--	------

通学路の安全確保及び校内環境整備

・通学路の安全確保に向けた道路整備、通学路上の危険ブロック塀等の撤去に向けた取組	3億985万円
・学校の校内環境整備に向けた屋外トイレの計画的な改修	1億1,960万円

基本目標 4

豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む

※基本目標4の主な事業の予算額合計（再掲含む）6,063万円

大学の機能を生かした学びの推進と大学のあるまちづくりへの取組

・地域や高校生と大学をつなぎ、大学の知見を生かして地域とともに学ぶ課題解決に向けた取組	811万円
・大学生とともに地域を学ぶフィールドスタディなど探究的な学びによる人材育成の推進	64万円
・大学連携コーディネーターの配置による大学生と地域のつながりの強化	527万円
・信州大学新学部誘致推進協議会と連携した取組	400万円
・地域の高等教育機関に通う学生の声を活かす取組	100万円

住民の主体的な学びあいの支援

・「ムトスぷらざ」におけるコーディネーターを中心とした創発活動の推進	280万円
・外部有識者の知見を生かした取組や公民館における地域課題学習など社会教育活動を活発化させる取組の推進	1,589万円
・高校生や大学生と地域がお互いに学び合い相乗効果を生み出す環境づくりの推進（事業費再掲）	875万円

子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育む学習の推進

・地域への愛着と誇りを持つ人材育成をねらいとする飯田型キャリア教育の推進	17万円
・高校での企業ガイダンスなど高校生と地元企業との連携強化、実践的な取組の推進	0 予算事業

地域資源の保存活用を担う人材の発掘・育成

・地域の自然と文化を伝える人材の育成に向けた「伊那谷の自然と文化」に触れる機会の提供	16万円
--	------

伝統文化、文化財の保存・継承・活用の推進

・地域住民との協働による「恒川官衙（ごんがかんが）遺跡」及び「飯田古墳群」の保存活用の推進と継承のための学びの場づくり	1,384万円
---	---------

基本目標 5

文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる

※基本目標5の主な事業の予算額合計（再掲含む）4億5,726万円

「人形劇のまちづくり」等の推進

- ・節目を迎える「いいだ人形劇フェスタ」（25周年）と「オーケストラと友に音楽祭」（15周年）の開催 3,073万円

新たな文化芸術活動の拠点づくり

- ・市民の想いを取り入れた新文化会館の基本構想の策定 1,001万円

競技スポーツ人口の拡大とスポーツ施設の整備、サービスの向上

- ・スポーツ施設の屋根外壁改修、照明のLED化、トイレ改修等スポーツ環境の向上 4億1,308万円
- ・全国レベルで活躍する飯田出身者の情報発信など競技スポーツへの関心を広げる施策の推進 0 予算事業

中学生期の多様な文化・スポーツ環境の充実

- ・部活動の地域移行に向けた学校、地域及び文化・スポーツ系団体等による文化・スポーツ別の協議会の設置 344万円

基本目標 6

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

※基本目標6の主な事業の予算額合計（再掲含む）2億5,896万円

希望をもってライフデザインを描くことができる結婚支援

- ・結婚支援アドバイザーによるサポートと婚活イベントの開催による出会いの場の創出 1,043万円
- ・「結婚新生活支援事業補助金」制度の拡充 1,500万円

出産の希望をかなえ、安心して子育てできる環境整備

- ・不妊・不育相談や不妊・不育治療費の助成の継続実施 1,616万円
- ・宿泊型産後ケア事業及び授乳・育児相談助成事業などの産後生活支援の充実 377万円
- ・先天性難聴等の早期発見を目的として行う新生児聴覚検査への支援 352万円
- ・妊娠時と出産時の「出産子育て応援給付金」の給付 1億7,750万円

・子育て世帯の負担軽減に向けた地域子育て支援拠点における一時預かり及びファミリーサポートの実施	1,387 万円
---	----------

「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組強化

・ヤングケアラーや子どもの貧困対策の相談窓口の設置やヘルパー派遣など、複雑化した課題への包括的支援の推進	1,146 万円
・母子保健と児童福祉の一体化へ向けた相談支援体制の整備	450 万円

保育・教育人材の確保

・飯田短期大学の保育人材養成課程との連携強化	50 万円
・県内・中京圏の養成校に通う地元人材向けガイダンス等の実施	9 万円

園児が減少している保育園の存続体制整備

・日常的な相互交流保育の実施や保育士のインターンシップの拡充、保育留学（保育体験）を行う家庭への支援など遠山地域 2 保育園の存続に向けた取組の推進	216 万円
--	--------

基本目標 7

「市民総健康」と「生涯現役」をめざす

※基本目標 7 の主な事業の予算額合計（再掲含む）2 億 5,285 万円

コロナ禍における健康づくりの再興

・コロナ禍で中止や縮小されている地域介護予防教室等の運営支援	86 万円
--------------------------------	-------

働き盛り世代からの健康づくりの推進

・健診を受けられない方々への受診機会の確保	202 万円
・生活習慣病予防のための 40 歳歯科健診の推進及び企業への出前講座の拡大	52 万円

フレイル予防（介護予防）の推進

・フレイル予防への後押しとしての高齢者健康ポイント制度の創設	341 万円
・地域包括支援センターの増設による相談体制の強化	1 億 7,255 万円
・通いの場再構築モデル事業の横展開などによる高齢期の健康づくりの支援	139 万円

地域の診療体制の整備・維持

・南信濃地区における診療所の設置場所の検討	0 予算事業
-----------------------	--------

新型コロナウイルス感染症対策の推進

- ・社会福祉施設における感染拡大防止のための継続支援 7,210 万円

基本目標 8

共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる

※基本目標 8 の主な事業の予算額合計（再掲含む）7,405 万円

地域福祉活動の推進

- ・社会福祉協議会との協働による地域福祉コーディネート機能の強化など地域福祉課題の洗い出しや課題解決に向けた取組の支援 6,986 万円

重層的支援体制の充実

- ・福祉まるごと相談窓口やひきこもり家族学習会を起点とした伴走支援 6 万円
- ・既存の福祉サービス等の対象外のサービスを提供する団体等の活動支援 300 万円

障がい者福祉の充実

- ・バリアフリートイレ情報のオープンデータ化による利便性の向上 33 万円
- ・飯田市第 5 次障害者施策に関する行動計画及び飯田市障がい福祉計画・飯田市障がい児福祉計画の策定 80 万円

基本目標 9

20 地区が輝く生き生きとした地域づくりを地域主体に進める

※基本目標 9 の主な事業の予算額合計（再掲含む）2 億 26 万円

20 地区田舎へ還ろう戦略の推進による若年層のニーズに応える地域コミュニティづくり

- ・各地区の自治振興センターによる 20 地区ごとの特性を生かした取組の支援 1 億 1,313 万円

中山間地域の振興

- ・近居・同居支援事業補助金や中山間地域振興事業支援補助金などの各種補助金による支援の充実 1,260 万円
- ・地域おこし協力隊の制度の活用や農村起業家育成スクールの実施等による中山間地域 7 地区の個性を生かした住民主体の取組の支援 5,064 万円

遠山郷の振興

・民間空き家の活用による移住定住者向け住宅の確保や「やまざと親子留学」など まちづくり委員会の主体的な取組の支援	868 万円
---	--------

空き家の適正管理と利活用

・地域と連携した活用可能な空き家の掘り起こしや移住定住事業と連携した空き家の流通活用など空き家の適正管理と利活用の推進	181 万円
・空き家対策支援事業補助の活用による空き家対策に取り組む地域活動の支援	1,190 万円
・中山間地域における空き家の跡地利用を条件とした解体の補助制度の創設	150 万円

基本目標 10

個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる

※基本目標 10 の主な事業の予算額合計（再掲含む）2,170 万円

ムトスぷらざを拠点としたムトスの精神に基づく市民活動の推進

・ムトス飯田助成事業の伴走支援及び専門コーディネーターによるムトス市民活動の推進	1,056 万円
・男女共同参画推進コーディネーターの設置や自分らしい働き方を目指す女性の起業に向けた研修会等による若年層や女性の活躍の場の創出	322 万円

多様な価値観を認め合える共生社会の推進

・多文化共生推進コーディネーターによる相談体制の強化や啓発事業の推進	750 万円
・国際交流コーディネーターの設置による国際交流事業の日常化	42 万円
・長野県人権啓発センターの講師派遣制度等を活用した性の多様性理解促進研修会の実施	0 予算事業

基本目標 11

地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進

※基本目標 11 の主な事業の予算額合計（再掲含む）6 億 8,063 万円

環境学習の推進とエコパーク・ジオパークの普及

・各公民館で実施する寺子屋事業や高齢者学級など、環境問題に対する理解を深めるための学習の開催	201 万円
・関係自治体や協議会との連携によるエコパーク・ジオパークの普及活動の推進	108 万円

「環境文化都市」を体現する取組の強化

・若年層をターゲットとした「環境文化都市づくりプラットフォーム」や「SDGs」に関する学びを深める事業の推進	287万円
・製品プラスチックのリサイクルをはじめとした3R（リサイクル・リユース・リデュース）の推進と廃棄物の適正処理の推進	1億922万円
・緑のリサイクル（落葉等の堆肥化）や及び古布のリサイクル回収などによる可燃ごみ減量対策の推進	1億5,903万円

ゼロカーボンシティに向けた実践

・「メガソーラーいいだ」を核とした地域マイクログリッドの構築、学校施設の脱炭素化、環境教育の展開など脱炭素先行地域の取組の展開	3億5,580万円
・環境共生住宅エリア及び市内全域における飯田版ZEH（ネットゼロエネルギーハウス）の普及促進の取組	2,340万円
・太陽光発電等設備のさらなる普及や暮らしの省エネルギー化など、ゼロカーボンシティ実現に向けた補助制度の拡充	2,722万円

基本目標 12

災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る

※基本目標 12 の主な事業の予算額合計（再掲含む）7億9,027万円

消防団員確保に向けた取組の強化

・地域防災力の維持向上に向けた消防団員確保の推進	1億7,428万円
・消防団の活動拠点となる詰所の整備	4,741万円

指定避難所等の生活環境の向上

・指定避難所における屋外トイレの計画的な改修（一部事業費再掲）	2億3,973万円
---------------------------------	-----------

避難の実効性を高め、安全・安心なまちづくりを推進

・長野県の河川浸水想定区域を踏まえたハザードマップの更新や指定避難所等の見直し	796万円
・地域住民が災害リスクを正しく認識するための研修会の実施や避難の実効性を高めるための個別避難計画の策定支援	1,029万円

通学路の安全確保

・通学路の安全確保に向けた道路整備、通学路上の危険ブロック塀等の撤去に向けた取組（再掲）	3億985万円
・交通安全教室や啓発活動など、高齢者や子どもに対する交通事故抑止に向けた取組の推進	75万円

基本目標 13

リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する

※基本目標 13 の主な事業の予算額合計（再掲含む）19億9,879万円

リニア関連事業の情報発信の強化、丁寧な合意形成、事業の着実な実施

・リニア関連事業の進捗状況など市民の皆さんに関心を持っていただくための積極的な情報発信	369万円
・リニア駅周辺整備の着実な実施	13億1,297万円
・次世代インフラPJ、トータルデザインPJ、ブランドクリエイイトPJの官民協働体制構築に向けた検討	6,000万円
・リニア長野県駅（仮称）と市内外の各拠点を接続する二次交通を踏まえた新たなモビリティの実証実験	2,263万円
・リニア駅周辺関連道路等に係る用地買収や物件移転補償、道路整備工事等の実施	2億7,896万円
・座光寺上郷道路との接続道路に係る座光寺スマートインターチェンジ周辺の道路整備工事等の実施	2億7,300万円

デジタル化や先端技術活用推進に向けた研究と実践

・市税の口座振替申込をオンラインで行えるシステムの導入	802万円
・飯田市美術博物館へのキャッシュレス決済の導入	166万円
・電子契約システムの導入	46万円
・全庁対応可能なオンライン相談システムの導入	54万円
・母子手帳交付のオンライン予約の開始	109万円
・AIチャットボットとプッシュ型の情報発信と通報機能を備えた公式LINEの運営	292万円
・小中学生の読書活動推進に向けた学校図書館への蔵書管理システムの導入（一部事業費再掲）	1,600万円
・学校事務の負担を軽減し児童生徒の教育に充てる時間を増やすための校務支援システムの導入	400万円

・スマホ教室やプログラミング教室など体験型の学びの機会の創出	295 万円
・地域課題解決に向けたオープンデータの整備及びその活用方法についての研究	342 万円
・地域 DX 情報交流会・DX 人材育成講演会の開催	67 万円
・製造現場における課題解決と改善のための DX・IT 化支援	130 万円

土地利用基本方針の検討

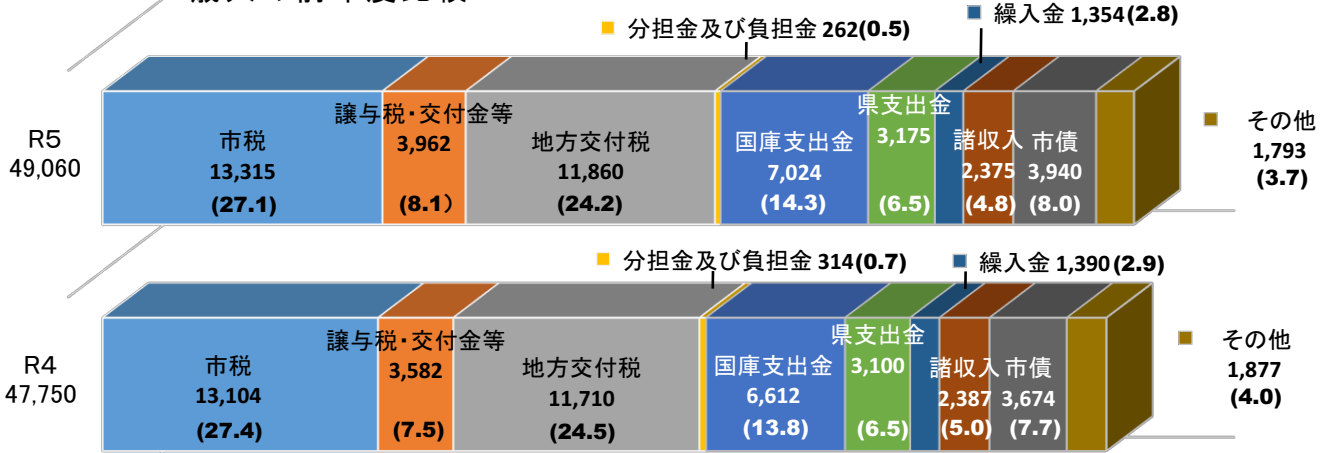
・リニアの整備効果を地域振興に活かすビジョン（案）の実現に向けた土地利用のあり方の検討	451 万円
---	--------

3 一般会計・各会計歳入歳出予算

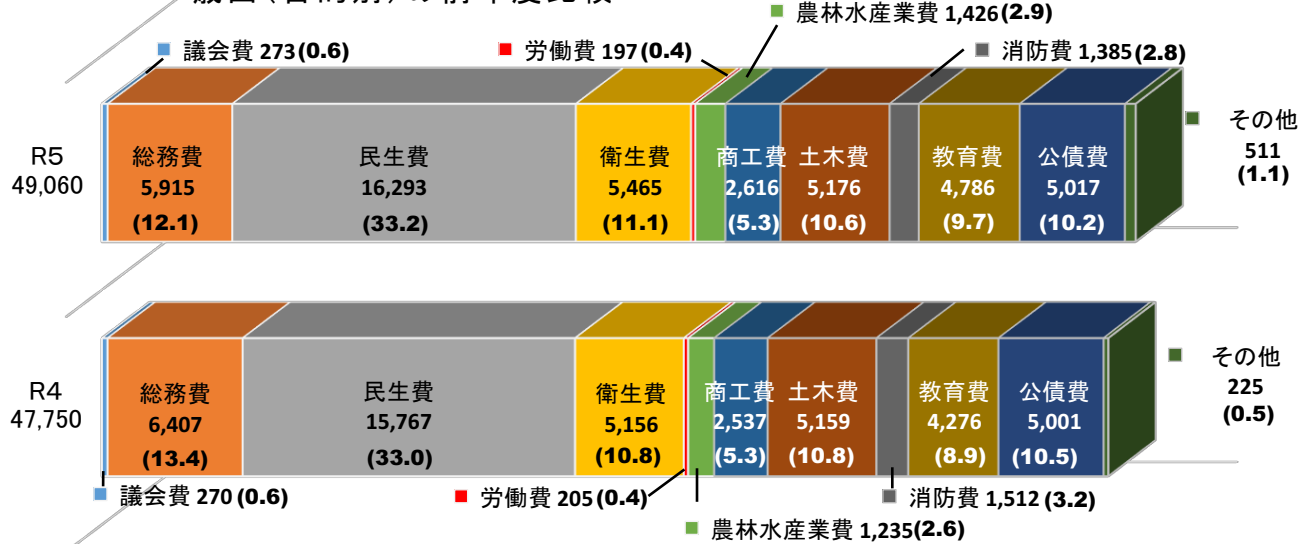
令和5(2023)年度一般会計予算額【490.6億円】

(単位:百万円) (〇)は構成比

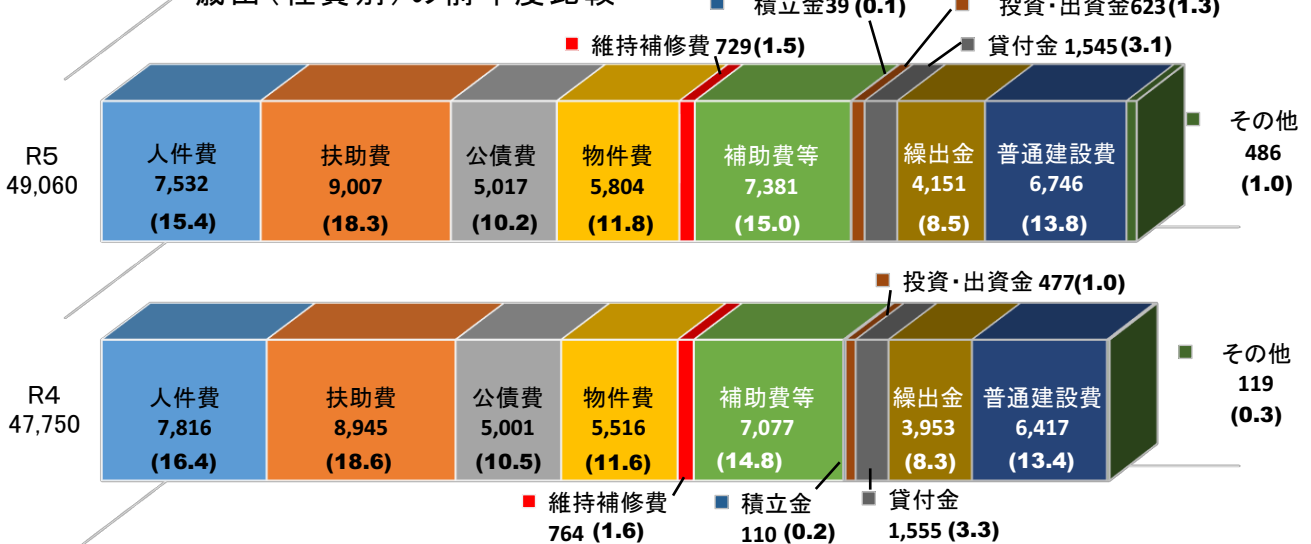
歳入の前年度比較



歳出(目的別)の前年度比較



歳出(性質別)の前年度比較



令和5(2023)年度 飯田市各会計予算の総額

会 計 名		予 算 額		比 較	
		5年度(A)	4年度(B)	(A)-(B) (C)	(C)/(B)
一 般 会 計		49,060,000	47,750,000	1,310,000	2.7
国民健康保険特別会計	事業勘定	8,697,200	9,025,900	△ 328,700	△ 3.6
	直診勘定	4,700	4,700	0	0.0
後期高齢者医療特別会計		1,548,000	1,468,700	79,300	5.4
介護保険特別会計		12,416,900	11,986,000	430,900	3.6
地方卸売市場事業特別会計		18,800	17,500	1,300	7.4
駐車場事業特別会計		48,000	56,300	△ 8,300	△ 14.7
墓地事業特別会計		13,800	13,900	△ 100	△ 0.7
介護老人保健施設事業特別会計		760,300	721,700	38,600	5.3
ケーブルテレビ放送事業特別会計		142,000	77,000	65,000	84.4
病院事業会計		16,663,000	16,917,800	△ 254,800	△ 1.5
水道事業会計		4,167,200	3,732,600	434,600	11.6
下水道事業会計		6,363,700	6,353,000	10,700	0.2
特別会計の計		50,843,600	50,375,100	468,500	0.9
計		99,903,600	98,125,100	1,778,500	1.8

(単位:千円、%)

主 な 内 容	
	一般
保険給付費 6,211,577 事業費納付金 2,239,244 総務費 123,756 保健事業費 78,044	国保
三穂診療所、上村歯科診療所	
後期高齢者医療広域連合納付金 1,518,129	後高
保険給付費 11,769,799 地域支援事業費 360,463	介護
卸売市場費 17,682	市場
市営駐車場運営管理 47,437	駐車
霊園運営管理 11,978	墓地
施設管理費 679,642 施設事業費 80,468	老施
竜東維持管理費 63,503 遠山郷維持管理費 75,909	ケテ
収益の収入 13,757,800 収益の支出 14,571,000 資本の収入 1,524,000 資本の支出 2,092,000	病院
収益の収入 2,111,900 収益の支出 1,978,200 資本の収入 1,121,600 資本の支出 2,189,000	水道
収益の収入 3,660,500 収益の支出 3,376,200 資本の収入 1,547,300 資本の支出 2,987,500	下水
	特会
	計

令和5(2023)年度 一般会計 歳入 (主な内容と増減内訳)

区 分	予 算 額		(A)の 構成比	増 減	
	5年度(A)	4年度(B)		(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 市 税	13,315,000	13,104,000	27.1	211,000	1.6
2 地 方 譲 与 税	497,000	512,000	1.0	△ 15,000	△ 2.9
3 利 子 割 交 付 金	3,000	7,000	0.0	△ 4,000	△ 57.1
4 配 当 割 交 付 金	71,000	52,000	0.1	19,000	36.5
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	37,000	61,000	0.1	△ 24,000	△ 39.3
6 法 人 事 業 税 交 付 金	276,000	230,000	0.6	46,000	20.0
7 地 方 消 費 税 交 付 金	2,903,000	2,590,000	6.0	313,000	12.1
8 自 動 車 税 環 境 性 能 割 交 付 金	42,000	43,000	0.1	△ 1,000	△ 2.3
9 地 方 特 例 交 付 金	122,000	73,000	0.2	49,000	67.1
10 地 方 交 付 税	11,860,000	11,710,000	24.2	150,000	1.3
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	11,000	14,000	0.0	△ 3,000	△ 21.4
12 分 担 金 及 び 負 担 金	262,038	314,434	0.5	△ 52,396	△ 16.7
13 使 用 料 及 び 手 数 料	559,111	589,278	1.2	△ 30,167	△ 5.1
14 国 庫 支 出 金	7,024,399	6,612,095	14.3	412,304	6.2
15 県 支 出 金	3,175,628	3,099,496	6.5	76,132	2.5
16 財 産 収 入	273,593	313,875	0.6	△ 40,282	△ 12.8
17 寄 附 金	460,200	373,700	0.9	86,500	23.1
18 繰 入 金	1,353,831	1,390,476	2.8	△ 36,645	△ 2.6
19 繰 越 金	500,000	600,000	1.0	△ 100,000	△ 16.7
20 諸 収 入	2,374,500	2,387,046	4.8	△ 12,546	△ 0.5
21 市 債	3,939,700	3,673,600	8.0	266,100	7.2
合 計	49,060,000	47,750,000	100.0	1,310,000	2.7

主 内 容	増減(A)-(B)の主な内容	
市民税 5,869,000 (個人 5,046,000 法人 823,000) 固定資産税 5,662,000 都市計画税 680,000 軽自動車税 424,000 市たばこ税 677,000 入湯税 3,000	市税は現年課税分で比較 個人 73,000 法人 57,000 固定資産税 32,000 都市計画税 9,000 軽自動車税 △9,000 市たばこ税 47,000	市税
地方揮発油 109,000 自動車重量 327,000 森林環境 61,000	地方揮発油 △7,000 自動車重量譲与税 △8,000	地譲
	利子割交付金 △4,000	利子
	配当割交付金 19,000	配当
	株式等譲渡所得割交付金 △24,000	株式
	法人事業税交付金 46,000	法事
消費税率10%に引上げによる増収分1,583,455千円は全額を社会保障施策に充当 (充当内訳:社会福祉 1,036,941 社会保険 427,436 保健衛生 119,078)	地方消費税交付金 313,000	消費
	環境性能割交付金 △1,000	環性
地方特例交付金 86,000 新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金 36,000	感染症対策地方税減収補填特別交付金 36,000	地特
普通交付税 10,860,000 特別交付税 1,000,000	普通交付税 150,000	地交
	交通安全対策特別交付金 △3,000	交通
民生費負担金 195,966 (老人福祉 92,533 保育料等 90,035) 土木費負担金 39,825 (道路改良事業負担金) 総務費負担金 22,547 (戸籍システム共同利用 17,511)	道路改良事業負担金(他市町村分) 25,000 データ放送システム共同利用負担金 △4,840 民間保育所保護者負担金(現年度分) △84,207	分負
ごみ処理手数料 157,811 住宅使用料 141,902 休日夜間急患診療所使用料 46,079 道路河川占用料 37,500 斎苑使用料 19,753 地域振興住宅使用料 17,828 戸籍手数料 17,369 文化会館使用料 17,200 住民票手数料 13,173 公園使用料 9,500 建築確認手数料 9,235 地区公民館使用料 9,042	文化会館使用料 2,200 勤労者福祉センター使用料 △2,400 美術博物館観覧料 △2,660 ごみ処理手数料 △5,501 休日夜間急患診療所使用料 △21,768	使手
【負担金】 民生費 4,378,750 (民間保育所 1,268,781 障がい児・者 1,269,201 児童手当 1,037,586 生活保護 576,566) 衛生費 75,907 (保険基盤安定) 災害復旧費 253,418 (公共土木施設災害) 【補助金】 総務費 710,307 (リニア 658,550 コロナ地方創生臨時交付金 26,844 社会保険・税番号制度 19,154) 民生費 393,559 (重層的支援 157,005 民間保育所 101,836) 衛生費 474,313 (地域脱炭素化 323,678 出産・子育て応援 118,516 成人保健 5,261 母子保健 5,636) 商工費 2,070 (観光) 土木費 673,860 (道路 438,650 橋りょう 138,765) 消防費 11,075 (災害対策) 教育費 33,238 (小・中学校 24,533 文化財保護 8,705)	社会資本整備総合交付金(都市構造再編集中支援事業) 435,600 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金 323,678 公共土木施設災害復旧事業負担金 203,393 道整備交付金 150,000 出産・子育て応援交付金 118,516 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 △65,742 感染症ワクチン接種負担金 △107,312 社会資本整備総合交付金(道路事業) △123,100 社会資本整備総合交付金(道路整備) △182,658 社会資本整備総合交付金(街路事業) △325,160	国費
【負担金】 民生費 1,781,348 (民間保育所 699,762 障がい児・者 618,100 児童手当 226,671 後期高齢者医療 208,246) 衛生費 233,328 (保険基盤安定) 【補助金】 総務費 9,482 (就業移住支援金 5,000 消費者行政活性化事業 4,482) 民生費 531,767 (医療費給付 207,791 民間保育所 104,596 重層的支援 76,391 地域子育て支援 69,481 老人福祉 30,966) 農林費 287,085 (林業振興 93,585 農政対策 92,303 農業振興 63,782 農地 20,000 国土調査 9,000 農業委員会 8,415) 【委託費】 総務費 199,785 (県民税 165,450 県議会選挙 24,429)	民間保育所負担金 72,382 出産・子育て応援交付金 29,489 新規就農者経営発展支援事業補助金 27,000 民有林林道改良事業補助金 22,609 保険基盤安定負担金 20,477 認定こども園施設整備事業補助金 20,439 林道開設事業補助金 18,976 保育士加配支援事業補助金(県単) 18,432 農地利用効率化等支援交付金 △26,534 知事選挙委託金 △31,327 参議院議員選挙委託金 △33,261 保育所等処遇改善臨時特例交付金 △52,607	県費
不動産売払収入 235,278 基金運用収入 24,786 財産貸付収入 12,882	建物売払収入 △7,474 土地売払収入 △28,837	財産
ふるさと寄附金 441,500 工業振興寄附金 13,700 奨学資金 3,000	ふるさと寄附金 79,500 工業振興寄附金 7,000	寄附
財調 300,000 減債 550,000 ふるさと 55,991 リニア 165,504 地域振興 123,285 森林経営管理 69,356 介護保険特別会計 44,731 教育支援 15,200 過疎 14,677	財調 △40,000 リニア 36,363 森林経営管理 18,529 ふるさと △10,104 教育支援 △18,950 過疎 △26,957	繰入
		繰越
貸付金元利収入 1,541,523 (商工制度資金 1,400,000 生活資金 120,000) 受託事業収入 281,868 (中央新幹線用地取得事務 114,949 分収造林 76,706) 雑入 548,059	埋蔵文化財調査受託事業収入 34,870 スポーツ振興くじ助成金 20,000 JR東海負担金 △70,412	諸収
過疎対策事業債 203,700 観光 71,800 公共交通体系 47,900 林道 32,700 道路 11,700 その他 3,736,000 土木 1,250,400 教育 719,900 総務 559,200 民生 268,900 農林 245,500 衛生 167,500 災害復旧 161,100 消防 122,800 商工 30,700 臨時財政対策債 210,000	脱炭素化推進 167,100 緊急防災・減災 123,900 過年発生補助災害 132,400 公共施設等適正管理 108,900 上水道事業債(一般会計出資債) 76,100 公共事業等 △112,000 臨時財政対策 △190,000	市債

令和5(2023)年度 一般会計 目的別歳出 (主要内容と増減内訳)

区 分	予 算 額		(A)の構成比	増 減	
	5年度 (A)	4年度 (B)		(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 議 会 費	273,327	269,610	0.6	3,717	1.4
2 総 務 費	5,914,749	6,406,921	12.1	△ 492,172	△ 7.7
3 民 生 費	16,292,374	15,766,522	33.2	525,852	3.3
4 衛 生 費	5,464,975	5,155,863	11.1	309,112	6.0
5 労 働 費	197,120	205,059	0.4	△ 7,939	△ 3.9
6 農 林 水 産 業 費	1,426,424	1,235,050	2.9	191,374	15.5
7 商 工 費	2,616,268	2,537,281	5.3	78,987	3.1
8 土 木 費	5,176,048	5,158,810	10.6	17,238	0.3
9 消 防 費	1,385,144	1,512,090	2.8	△ 126,946	△ 8.4
10 教 育 費	4,785,543	4,276,301	9.7	509,242	11.9
11 災 害 復 旧 費	434,932	79,300	0.9	355,632	448.5
12 公 債 費	5,017,492	5,001,286	10.2	16,206	0.3
13 諸 支 出 金	35,604	105,907	0.1	△ 70,303	△ 66.4
14 予 備 費	40,000	40,000	0.1	0	0.0
合 計	49,060,000	47,750,000	100.0	1,310,000	2.7

主 内 容	増 減 の 主 な 内 容	
議会費 273,327	議会一般経費 1,707 事務局職員人件費 1,075	議会
リニア駅周辺整備事業 1,372,973 ふるさと飯田応援隊募集事業 250,699 リニア代替地整備事業 216,193 総務一般管理費 195,144 住民情報システム管理費 181,031 市民バス等運行业務 176,537 自治振興センター管理費 124,130 地域自治支援事業 110,136 情報管理費 102,816 南信州広域連合負担金(一般会計) 99,551 課税事務委託費 66,782 ケーブルテレビ放送事業特別会計繰出金 65,643 リニア推進事業 39,990 人事一般管理費 38,286 中山間地域振興事業 37,106 車両管理費 36,404 賦課費 34,876 広報番組制作放送委託費 33,385 防犯灯維持管理費 33,098	リニア駅周辺整備事業 195,427 ケーブルテレビ放送事業特別会計繰出金 46,260 ふるさと飯田応援隊募集事業 44,642 自治振興センター管理費 40,786 総務一般管理費 30,684 リニア二次交通整備事業 22,626 参議院議員選挙費 △29,236 課税事務委託費 △38,527 リニア推進事業 △61,226 情報セキュリティ対策事業 △72,851 リニア代替地整備事業 △200,457 人件費 △453,622	総務
民間保育所等運営費 2,678,764 介護保険特別会計繰出金 1,775,859 児童手当費 1,492,611 後期高齢者医療関係一般経費 1,241,000 総合支援介護給付事業 1,147,810 総合支援訓練等給付事業 836,243 生活保護措置費 768,755 障害児通所支援費 420,058 児童扶養手当費 383,435 養護老人ホーム措置事業 320,154 後期高齢者医療特別会計繰出金 304,532 障害者医療費給付事業 261,951	公立認定こども園施設整備事業 96,538 会計年度任用職員人件費 89,016 社会福祉施設等感染予防対策支援事業 72,100 介護保険特別会計繰出金 62,232 生活保護措置費 44,852 総合支援訓練等給付事業 43,652 後期高齢者医療関係一般経費 41,000 老人福祉一般経費 39,806 総合支援介護給付事業 23,382	民生
病院事業会計負担金 1,137,724 国民健康保険特別会計繰出金 590,147 南信州広域連合負担金(焼却場) 492,530 水道費 426,396 ごみ収集処理費 308,830 脱炭素先行地域づくり事業 275,332 予防接種事業 267,601 出産子育て応援事業 169,870 ごみ減量対策費 159,031 容器包装等リサイクル事業 109,224	脱炭素先行地域づくり事業 275,332 出産子育て応援事業 169,870 水道費 76,291 容器包装等リサイクル事業 51,671 ごみ減量対策費 51,603 国民健康保険特別会計繰出金 43,705 感染症予防接種事業 △109,936 病院事業会計負担金 △234,818	衛生
勤労者協調融資事業 120,000 勤労者福祉センター管理費 25,706 飯田勤労者共済会補助事業 12,677 労働諸費 7,308	勤労者協調融資事業 △10,000	労働
林道改良事業(補助) 94,709 排水路防災対策整備事業 90,000 農業施設維持補修事業 85,481 農業施設長寿命化事業 79,200 分取造林事業 76,706 新規就農者支援事業 60,130 国土保全特別対策事業 51,392 農業基盤整備資金償還補助事業 44,026 果樹・野菜等振興事業 42,671 森林経営管理事業 38,308 農作物鳥獣被害対策事業 35,126 中山間地域等直接支払事業 34,275	農業施設長寿命化事業 79,200 林道改良事業(補助) 48,009 新規就農者支援事業 35,882 林道開設事業 31,236 排水路防災対策整備事業 25,000 林道舗装事業 16,709 分取造林事業 12,359 意欲ある農業者支援事業 △26,585	農林
中小企業金融対策事業 1,502,000 工業振興一般経費 97,523 道の駅遠山郷施設管理費 85,773 産業用地整備事業 81,730 地域産業等振興事業 61,530 上村観光施設管理費 54,657 企業立地促進事業補助金 52,600 南信濃観光施設管理費 49,619	道の駅遠山郷施設管理費 74,447 南信濃観光施設管理費 27,554 駐車場事業特別会計繰出金 17,938 企業立地促進事業補助金 15,100 上村観光施設管理費 14,385 観光施設整備事業 8,834 りんご並木活性化事業 8,578 産業用地整備事業 △93,533	商工
下水道費 1,534,800 道整備交付金事業 325,000 交通安全対策補助事業(通学路緊急対策) 280,000 道路メンテナンス事業 256,496 橋りょう耐震整備事業 250,000 道路補修事業 242,066 道路舗装補修事業 210,284 社会資本整備総合交付金事業(道路整備) 202,000 公営住宅整備事業(補助) 188,893 市道改良事業 135,580	道整備交付金事業 325,000 橋りょう耐震整備事業 190,000 河川台帳整備委託費 35,200 市道改良事業 31,109 道路補修事業 22,425 県道路事業等負担金 △42,000 交通安全対策補助事業(通学路緊急対策) △60,000 県街路事業地元負担金 △119,555 社会資本整備総合交付金事業(道路整備) △352,816	土木
南信州広域連合負担金(消防) 945,553 消防団運営事業 174,277 消防体制強化整備事業(単独) 68,216 消防団詰所整備事業 47,410 水道事業会計負担金 40,000	消防体制強化整備事業(単独) 36,610 南信州広域連合負担金(消防) 30,438 水道事業会計負担金 21,400 防災対策推進事業 △210,927	消防
体育施設改修費 291,982 学校管理一般経費(小・中) 235,678 情報通信技術活用教育推進事業(小・中) 213,537 調理業務委託費 193,030 公民館管理・運営費 181,157 学校教育振興事業(小・中) 176,099 学校施設大規模改修事業(小・中) 159,597 美術博物館管理費 155,812 体育施設管理費 136,556 学校給食事業 126,189 社会体育学校開放施設整備費(単独) 121,100	体育施設改修費 145,460 美術博物館管理費 97,351 学校管理一般経費(小・中) 63,591 学校施設省エネルギー化改修事業(小・中) 80,470 会計年度任用職員人件費 62,632 社会体育学校開放施設整備費(単独) 40,240 学校給食一般経費 20,772	教育
土木施設補助災害復旧事業 425,432 土木施設単独災害復旧事業 5,000	土木施設補助災害復旧事業 350,432 土木施設単独災害復旧事業 3,000	災害
元金 4,887,084 利子 130,408	元金 23,957 利子 △7,751	公債
中山間地域振興基金積立金 20,633 公共施設等整備基金積立金 7,329	新規積立金 △68,480 基金利子積立金 △1,823	諸支
		予備

令和5(2023)年度 一般会計 性質別歳出 (主な増減内訳)

	5年度予算額		4年度予算額		増 減	
	(A)	構成比	(B)	構成比	(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 人 件 費	7,532,453	15.4	7,815,554	16.4	△ 283,101	△ 3.6
2 扶 助 費	9,006,455	18.3	8,945,341	18.6	61,114	0.7
3 公 債 費	5,017,492	10.2	5,001,286	10.5	16,206	0.3
小 計	21,556,400	43.9	21,762,181	45.5	△ 205,781	△ 0.9
4 物 件 費	5,803,925	11.8	5,516,250	11.6	287,675	5.2
5 維 持 補 修 費	728,972	1.5	763,923	1.6	△ 34,951	△ 4.6
6 補 助 費 等	7,380,781	15.0	7,076,621	14.8	304,160	4.3
7 積 立 金	39,258	0.1	110,310	0.2	△ 71,052	△ 64.4
8 投 資・出 資 金	623,452	1.3	477,009	1.0	146,443	30.7
9 貸 付 金	1,545,373	3.1	1,555,214	3.3	△ 9,841	△ 0.6
10 繰 出 金	4,151,407	8.5	3,952,659	8.3	198,748	5.0
11 投 資 的 経 費	7,190,432	14.7	6,495,833	13.6	694,599	10.7
補 助	3,573,960	7.3	3,136,749	6.6	437,211	13.9
単 独	3,616,472	7.4	3,359,084	7.0	257,388	7.7
普 通 建 設 費	6,745,738	13.8	6,416,533	13.4	329,205	5.1
補 助	3,138,766	6.4	3,061,749	6.4	77,017	2.5
単 独	3,606,972	7.4	3,354,784	7.0	252,188	7.5
災 害 復 旧 費	444,694	0.9	79,300	0.2	365,394	460.8
補 助	435,194	0.9	75,000	0.2	360,194	0.0
単 独	9,500	0.0	4,300	0.0	5,200	120.9
12 予 備 費	40,000	0.1	40,000	0.1	0	0.0
合 計	49,060,000	100.0	47,750,000	100.0	1,310,000	2.7

単位：千円、%

増減の主な内容		
会計年度任用職員人件費 132,063 職員給 84,881 退職手当 △487,117		人件
生活保護措置費 47,252 総合支援訓練等給付事業 43,652 総合支援介護給付事業 23,382 民間保育所等運営費 20,178 総合支援医療給付事業 6,805 障害児通所支援費 6,129 障害者医療費給付事業 △9,528 養護老人ホーム措置事業 △16,000 児童手当 △62,125		扶助
元金 23,957 利子 △7,751		公債
容器包装等リサイクル事業 51,671 老人福祉一般経費 42,378 小学校管理一般経費 39,051 ごみ減量対策事業 38,757 河川台帳整備 35,200 道路補修事業 24,000 総務一般管理費 23,241 中学校管理一般経費 22,486 リニア二次交通整備事業 22,358		物件
農業施設維持補修事業 4,680 道路維持管理事業 3,933 除雪費 2,145 飯田子どもの森公園維持管理費 △3,653 市単土地改良事業 △4,906 橋りょう補修事業 △5,895 道路メンテナンス事業 △8,000 道路舗装補修事業 △18,840		維持
脱炭素先行地域づくり事業 260,015 出産子育て応援事業 165,000 社会福祉施設等感染予防対策支援事業 72,000 新規就農者支援事業 35,932 ふるさと飯田応援隊募集事業 30,973 南信州広域連合負担金(消防) 30,438 病院事業会計負担金 △302,818		補助
教育支援基金積立金 47 中山間地域振興基金積立金△7,448 森林経営管理基金積立金 △60,982		積立
水道事業出資金 71,443 病院事業出資金 68,000 観光振興事業出資金 7,000		投資
奨学金貸与事業 120 福祉医療費貸付金事業 39 勤労者協調融資事業 △10,000		貸付
介護保険特別会計繰出金 62,252 ケーブルテレビ放送事業特別会計繰出金 46,260 国民健康保険特別会計繰出金 43,705 後期高齢者医療関係一般経費 41,000 後期高齢者医療特別会計繰出金 △17,634		繰出
		投資
		補助
		単独
		普建
道整備交付金事業 303,000 リニア駅周辺整備事業 200,189 小学校施設省エネルギー化改修事業 50,470 林道改良事業(補助) 48,009 林道開設事業 30,096 中学校施設省エネルギー化改修事業 30,000 農業水利施設保全管理整備事業 △15,000 防災・安全交付金事業(通学路安全対策)△20,600 公営住宅整備事業(補助) △38,917 交通安全対策補助事業(通学路緊急対策) △60,000 リニア推進事業 △61,146 社会資本整備総合交付金事業(道路整備) △352,816		補助
橋りょう耐震整備事業 190,000 体育施設改修費 145,130 美術博物館管理費 83,712 農業施設長寿命化事業 79,200 公立認定こども園施設整備事業 78,256 農業施設維持補修事業 75,645 道の駅遠山郷施設管理費 74,040 社会体育学校開放施設整備費(単独) 40,240 消防体制強化整備事業(単独)36,610 中学校施設大規模改修事業 △79,595 産業用地整備事業 △93,533 防災対策推進事業 △198,656 リニア代替地整備事業 △200,457		単独
		災害
土木施設補助災害復旧事業 350,432 排水路防災対策整備事業 5,000		補助
土木施設単独災害復旧事業 3,000 林道単独災害復旧事業 1,200		単独
		予備

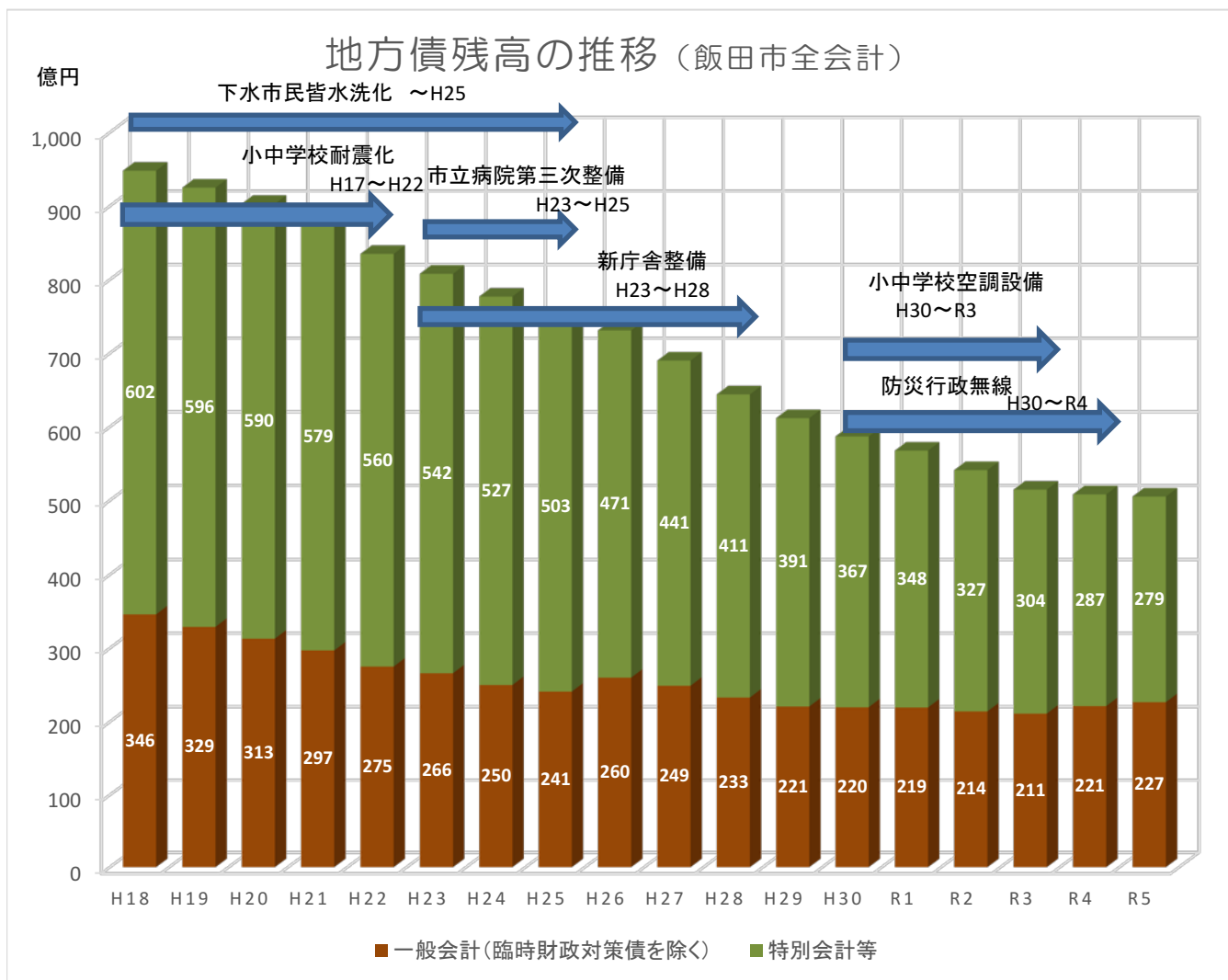
4 地方債残高の推移

(単位:百万円)

区 分	H30決算	R1決算	R2決算	R3決算	R4見込	R5当初
1 一般会計	42,342	42,041	41,224	40,288	40,101	39,153
(1) 臨時財政対策債	20,365	20,199	19,811	19,183	17,967	16,486
(2) (1)を除く地方債	21,977	21,842	21,413	21,105	22,134	22,667
2 特別会計等	36,714	34,827	32,707	30,368	28,689	27,865
(1) 介護老人保健施設事業	0	0	0	0	19	48
(2) 病院事業	5,505	5,219	5,022	4,776	4,761	5,090
(3) 水道事業	7,448	7,478	7,327	6,991	6,967	7,218
(4) 下水道事業	23,761	22,130	20,358	18,601	16,942	15,509
飯田市合計	79,056	76,868	73,931	70,656	68,790	67,018
臨時財政対策債を除く計	58,691	56,669	54,120	51,473	50,823	50,532
臨時財政対策債を除く対前年度比	△ 2,508	△ 2,022	△ 2,549	△ 2,647	△ 650	△ 291

※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合があります。

令和10年度末に一般会計地方債(臨時財政対策債を除く)を300億円以内に抑制することを財政運営目標としています。



5 基金残高の推移

(単位:百万円)

区 分	H30決算	R1決算	R2決算	R3決算	R4見込	R5当初
1 財政調整目的基金	4,033	4,146	3,968	6,612	5,944	5,105
(1) 財政調整基金	1,375	1,479	1,287	2,072	1,942	1,642
(2) 減債基金	1,471	1,476	1,484	1,490	944	398
(3) 公共施設等整備基金	1,187	1,191	1,197	3,050	3,058	3,065
財政調整目的基金対前年度比	△ 321	113	△ 178	2,644	△ 668	△ 839
2 その他特定目的基金	7,608	7,690	7,668	5,838	5,482	5,056
(1) ふるさと基金	1,032	1,125	1,169	1,164	1,121	1,068
(2) 庁舎建設基金	1,827	1,832	1,842	-	-	-
(3) 地域振興基金	2,228	2,228	2,228	2,228	2,101	1,978
(4) リニア中央新幹線 飯田駅整備推進基金	1,782	1,694	1,618	1,520	1,374	1,212
(5) その他	739	811	811	926	886	798
3 定額基金	1,582	1,582	1,582	1,582	1,582	1,582
基金合計	13,223	13,418	13,218	14,032	13,008	11,743
対前年度比	△ 457	195	△ 200	814	△ 1,024	△ 1,265

※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合があります。

庁舎建設基金は令和3年度に公共施設等整備基金に積み替えました。

令和10年度末に財政調整目的基金(財政調整基金、減債基金、公共施設等整備基金)の残高を27億円程度(標準財政規模の10%)確保することを財政運営目標としています。

